

横浜市が 2014 年「東アジア文化都市」に正式決定！

本日 9 月 28 日（土）、韓国の光州広域市で開かれた「第 5 回 日中韓文化大臣会合」において、横浜市は、中国：泉州市、韓国：光州広域市とともに、2014 年から新たにスタートする「東アジア文化都市」に正式決定されました。

「東アジア文化都市」事業は、日中韓 3 か国の開催都市で、多彩な文化芸術イベント等を開催することにより、東アジア域内の相互理解と連帯感を形成し、東アジアにおける多様な文化の国際発信力を高めていくことを目指しています。事業開始年である 2014 年は、泉州市、光州広域市とともに、その都市ならではのイベントや 3 か国の共同事業を開催していきます。

正式決定記念行事の様子



下村博文文部科学大臣から正式決定に係る
記念プレートを受領する林市長



林市長、（左から）下村博文文部科学大臣、劉
ジンリョン 韓 国 文 化 体 育 観 光 部 長 官、姜 雲 太 光 州
カンウンテ
震 龍 韓 国 文 化 体 育 観 光 部 長 官、姜 雲 太 光 州
サイブ
広 域 市 長、蔡 武 中 国 文 化 部 長、陳 慶 宗 泉 州
チョン チンチョン
市 副 市 長 と と も に 記 念 撮 影

【林文字横浜市長コメント】

光州広域市、泉州市とともに 2014 年の「東アジア文化都市」に正式決定したことを、大変光栄に思っています。いよいよ本格的に事業を始動できる喜びを実感しています。

光州広域市、泉州市、いずれも、独自の豊かな文化を育んできた魅力あふれる都市です。本日の会合では、各国政府のサポートを受け、ともに事業を成功させる決意を、両代表と共有することができました。

横浜市も、近代日本の世界への窓口として発展してきた歴史の中で培ってきた、オープンな気風・精神をもって、創造性と躍動感あふれる、多様な文化芸術イベントを展開してまいります。そして、アジア域内の相互理解を深め、都市の魅力を世界へとアピールしてまいります。

【参考】

1 「東アジア文化都市」の概要

- ・日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化から伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するもの。
- ・2012年5月の日中韓文化大臣会合にて、2014年1月からの開催が決定。事業開始年の2014年は、日中韓で各1都市、合計3都市を選定。2015年以降は、2015年中国、2016年韓国、2017年日本の順に毎年1都市を選定（2018年以降も同じ順で毎年1都市を選定することを想定）。
本年5月に、横浜市が国内候補都市として決定された。

2 開催時期

2014（平成26）年1月～12月

3 中国・韓国の選定都市について

・泉州市

中国福建省東南部。人口は約800万人を超え福建省で最大。
人形劇、指人形劇等の伝統芸能が盛んで、日本でも公演実績あり。

・光州広域市

朝鮮半島南西部。人口は約140万人超。
1995年から「光州ビエンナーレ」開催。韓国政府と連携し、「アジア文化中心都市造成事業」（韓国政府が20年をかけて光州広域市に予算・人材の支援を行う事業）を進めている。

お問い合わせ先		
文化観光局創造都市推進部東アジア文化都市担当課長	長谷川 秀	045-671-4203